



## はじめに

本書のタイトルはデンタルダイヤモンド社の木下裕介氏が考えてくれたもので、筆者は非常に気に入っている。というのは、ナメタメソッドには世界を変えるに十分たる潜在力があると自負しているからである。

約15年前にこのレーザーと出会ったときは、いったいどんな効果があるのかと訝いぶかった。しかし、いまでは通算4台購入し、かつ効率よく使わせていただいております。レーザーがなければ日々の治療が成り立たなくなってしまう。

ナメタメソッドは、2006年にある商業歯科雑誌で紹介したものの、あまり反響はなかった。しかしその後、ナメタメソッドの講習会を受講した先生方から、効果の高い治療法であると認められ、広がりを見せてきた。そして今回、その術式をはじめ、臨床例などを詳細に紹介する企画が持ち上がり、本書を発刊する運びとなった。

筆者が開発したナメタメソッドは、レーザーの利点を理解するうえで最良な手技の一つではないかと思う。その特徴を端的に言えば、「クラウンを外さずに病巣が治る」の一語に尽きる。この一語は、“世界を変える”というに十分足るものではないだろうか。

歯内療法は、丁寧に治療してもトラブルが起きないという保証はない。トラブルに、補綴物の除去なくして治療を促進できることは夢のような話である。当院を訪れる患者に一つひとつ説明していないが、相当数の患者をナメタメソッドで容易に助けてきたことは事実である。

ナメタメソッドは手技的な難しさもほとんどなく、その手技に馴れてしまえばとても役に立つ治療法である。本書は症例を中心に記しているので、ナメタメソッドを十分に理解できると思う。また、レーザー機器は高額であるため、メーカーの担当者はデモの機器を用意するなど、良心的に対応してくれるので、まだレーザーを臨床で応用されていない先生方は、導入を検討されてはいかがでしょうか。

最後に、読者諸兄には、本書を機にぜひナメタメソッドをマスターされることを望んでやまない。

2015年10月  
行田克則